

日本語教育機関 校長・主任教員・専任教師のみなさんへ

3月26日（木）に開催いたします「専任教員研修」では、自己の仕事ぶりの振り返りをはじめ、在留資格、告示基準、自己点検に関する事柄、教員としての自身の成長などを題材とし、意見交換をすることで、他校の取り組みや考え方に触れられる貴重な機会としたいと思います。

「日本語教育業界の“今”クイズ」

第一部では、アイスブレイクも兼ねてレベル別グループで協力してクイズに解答してもらいます。「留学生数」などの基礎データから、最近の日本語教育業界の動向まで様々な分野のクイズを通して、専任教員として「今」知っておくべき知識や日本語教育がおかれた状況を確認する時間にしたいと考えています。

【第一部】

講演 「時代が変わると何が変わる？～われわれ専任教師が変わるべきこと」

時代が令和に変わり、教育と大学入試が変わりつつあります。日本語教育の環境や現場も大きな変化に直面していく渦中にあります。そんな中、われわれ専任教師は「日本語教育を専門とする立場」で、何を知り、何をどう判断し、進むべきなのでしょう。 “選択肢が与えられる時代” はもはや終わり、今後は意思と実践力を持った現場のプロであることがますます求められていくことでしょう。研修の初めにあって、参加の皆さんと前向きにそんな時代について意識を共有できればと思っています。

（講演者より）

【第二部】

「在留資格について知ろう！」

このセクションでは、在留資格の種類とその取得条件について学びます。29ある「在留資格」の中で、留学生の進路と関わりが深い、「留学」、「技術・人文知識・国際業務」、「特定技能」などを中心に理解を深めます。今回「在留資格」に焦点を当てる理由は、「在留資格」を知ることが進路指導をする上で重要なことであるからです。留学生が卒業後に選ぶ進路は、進学、就職、起業、婚姻等による定住など様々です。この様々な進路について適切なアドバイスをするためには「在留資格」について詳しくなければなりません。

進路指導というと『進学先選びや出願、入試準備などを手伝い合格させること』に傾注しがちですが、一番大切なことは『学生の進路と共に向き合い、本人が良い選択をできるように導くことができる』ことです。このセクションでの学びを通して、中長期的な視野をもった進路指導ができるようになるきっかけになればと考えています。

【第三部】 **グループワーク** について

第三部は、申込時に主任教員に選択いただいたレベル別に分かれ、それぞれグループワークを行います。

Aレベル（専任としての経験が浅く、基礎的な研修を受けさせたい者）

「自己を知り、告示基準を知ることで、専任教員としての専門性を高める」

このレベルの参加者は今までのキャリアや日本語教師としての経験年数は様々かと思えます。しかし、一教員としてだけでなく、学校を運営していく一員として求められる仕事や能力とはどのようなものなのかを意識し、行動していく必要があります。そこで、この分科会では2つのプログラムを行います。

まず、「専任教員セルフチェックシート」を使った自己点検を行います。専任教員として求められる仕事について俯瞰し、自身の課題や目標を見つけます。

その後、「日本語教育機関の告示基準」についてのレクチャーとグループワークを行います。日本語教育機関とは何なのか、どう学校運営をしていくべきなのか、そのために専任教員が行わなければならないことは何なのかということについて理解を深めます。

自身の立ち位置と、身につけるべき能力を知ること、「専門性を追求する専任教員」を目指す意識を持てる機会となることを願っています。

Bレベル（専任としてさらなる成長を求めたい者）

「マネジメント能力を身につけ、より価値ある中堅教員へ！」

このレベルの参加者は、専任教員としてある程度の経験があり、仕事も一通りこなせて、学校の戦力となっていることと思えます。しかし、自らの、そして所属する教育機関の教育活動について、果たして主体的且つ適切に計画、実践、評価ができているでしょうか。日々の仕事に追われて教育活動について十分な計画や評価にまで意識が及んでいない人や、授業はできるようになったけど、次は何をしたらいいんだろう……、と次の成長ステップを見つけきれずに悩んでいる人は少なくないはずです。

このような状態に陥りやすいBレベルの教員にとって、学校組織の一員として、そして何よりも教育実践者である日本語教師として成長するためには、今いる場所より一歩先を目指した意識改革が何より必要です。

この分科会では、日本語学校の教育活動の要である中堅専任教員として、主体的にPDCAサイクルを組み立て自己点検評価の一部に関われる知識と能力を身につける為のヒントを手に入れることを狙いとします。

ここでは、まず日本語学校内での中堅教員の立ち位置を再確認し、それから、告示基準の概要と自己点検評価について知る為のレクチャーを行います。その後、グループの中で実際に自己点検ではどのような項目が必要になるのかを考え、発表資料にまとめます。発表資料はポスターツアーの形でシェアを行い、その後再びグループに戻り他のグループの発表資料から得た刺激を話し合いながら自グループ発表資料のブラッシュアップと分科会の振り返りを行ってもらいます。

教育活動の評価項目を知ることにより、具体的な行動へとつながるヒントを得て、中堅専任教員として更に成長するための意識を醸成する機会が創造できればと思います。

Cレベル（まとめ役、主任代理等の能力を求めたい者）

「自己点検・評価～その時、どう動く？」

Cレベルの参加者は主任に準ずる立場であり、教務の中心的存在としての役割を期待されます。しかし、様々な業務が集中し一人で多くの仕事を抱えこんでしまうというケースも、このレベルでは少なくないのではないのでしょうか。時には自ら判断し、自分よりも経験の浅い教員や非常勤教員など様々な方面に指示を出し、働きかけていくことが求められます。また、現在日本語教育業界を取り巻く環境が大きく変わり、日本語教育機関が学校運営の質を保証し、社会に発信していくことの必要性が叫ばれています。その第一歩が自己点検・評価であり、私たちは自ら学校運営を評価し、課題をみつけ、改善に向けて取り組まなければなりません。

そこで、この分科会では、自己点検・評価に焦点を当ててグループワークを行います。「学校運営」「教育活動」「入国・在留に関する指導及び支援」「財務」他、多岐にわたる点検項目の中から、教務として日々関わっている「学校運営」「教育活動」等の項目について、具体的にどのようなことが実現されるべきなのか、またその実現のためには、いつ、だれに、何を、どのように働きかけたらいいのか、具体的なアクションをグループで考えていきます。

自己点検・評価により社会的信頼を高め、学生が安心して学べる学校、魅力のある学校を作ることが、なぜ必要なのか、どんなことに繋がっていくのか、この分科会を通して考えてもらいたいと思います。また、具体的なアクションを考える中で、日々の働き方のヒントを見出す機会になればと思います。

【第四部】

レベル混合テーマトーク

ここでは、レベルの枠を越えた話し合いを行います。経験年数や背景は様々ですが、同じ日本語教師。様々な意見を通じて大いに刺激を与え合う時間にしたいと思います。また、悩みを共有したり気軽にアドバイスをし合ったりと、横のつながりを構築する貴重な機会ですので、是非積極的にトークに参加しましょう！

【第五部】

「明日からの私」

ここでは、一日の研修の総括として、研修での気づきや考えたことをまとめ、自分の学校で各自、明日から努力していきたいことや取り組みたいことなどをまとめていきます。

この振り返りを通じて、自身の成長を考えることを目的としています。

時間の関係で内容の変更があるかも知れませんが、概ね以上のような内容を予定しています。
みなさんの参加をお待ちしています。